



さがりばな — 那覇の夜

宮坂静生

八月の樹間に忘れられるは何  
向日葵は実に難民を救へんか  
コンテナ車アウシュヴィッツの夏いかに  
青杉の空へ杉原千畝のこと  
歓喜より憤怒のかたち噴水は  
蝙蝠が飛び込み柱さがしをり  
深山蝶踏むまじ大地こそ乳房  
さがりばな那覇の一夜は十重二十重

志賀高原一句



さがりばな海より月ののぼりくる  
核兵器持たざる誇りさがりばな  
金星へ露草ばかり蕊延ばし  
暁のわが影真黒盆了る  
盆過ぎの葱しんしんとじんじんと  
台風過畳に上る蟹の列  
天心へ花火や還らざる者に  
子中島ふきの死（八月四日）をふたり黄泉へ先立て夏嵐